

夜の部

19時開演 (18時30分開場)

女流義太夫連盟結成から70年



竹本京之助



鶴澤津賀榮



竹本土佐子



鶴澤津賀花



竹本越孝



鶴澤駒治

お話し 水野悠子
伽羅先代萩
政岡忠義の段

浄瑠璃 竹本京之助
三味線 鶴澤津賀榮

艶容女舞衣
酒屋の段

浄瑠璃 竹本土佐子
三味線 鶴澤津賀花

生写朝顔話
宿屋の段

浄瑠璃 竹本越孝
三味線 鶴澤駒治

女流義太夫演奏会

2021年1月20日 水

裏面も必ずお読み下さい

昼の部

13時30分開演 (13時開場)

第39回伝承者研修発表会



竹本寿々女



鶴澤弥々



竹本越里



鶴澤賀寿



竹本土佐恵



鶴澤寛也

写真●福田知弘

妹背山婦女庭訓
杉酒屋の段

浄瑠璃 竹本寿々女
三味線 鶴澤弥々

加賀見山旧錦絵
廊下の段

浄瑠璃 竹本越里
三味線 鶴澤賀寿

迎駕籠野中井戸
聚楽町の段

浄瑠璃 竹本土佐恵
三味線 鶴澤寛也

ご予約・お問合せ

昼夜完全入れ替え制

料金◎各3,000円/完全予約制/全席自由

*定員になり次第締め切ります。*当日券はございません。

会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方 各2,000円

予約受付:2020年12月21日(月)10時30分より

☎ 03-6265-1880

✉ am-giday@gidayu.or.jp

お一人様2枚まで お電話またはメールにて。

10時30分より前のメールは無効とさせていただきますのでご注意ください。

一般社団法人 義太夫協会

お江戸日本橋亭

東京都中央区日本橋本町3-1-6 日本橋永谷ビル 03-3245-1278

●東京メトロ銀座線三越前駅A10出口徒歩2分

●JR総武線新日本橋駅徒歩2分

主催 ●一般社団法人 義太夫協会
義太夫節保存会

後援 ●公益財団法人 日本伝統文化振興財団

助成 ●文化芸術振興費補助金
文化庁(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

昼の部

第39回伝承者研修発表会

妹背山婦女庭訓 杉酒屋の段

明和八年（一七七二）大坂竹本座初演。近松半二らの合作で、全五段の時代物。

三輪山のふもとの杉酒屋の娘お三輪は、隣に住む烏帽子折の求馬と恋仲になっています。そんな求馬のところへ人目を憚るように白衣を被った女・橘姫が訪ねてきて、二人は求馬をめぐる奪い合いになります。そこにお三輪の母も帰ってきて、一騒動起こりますが、その間に橘姫は逃げ出し、求馬とお三輪もこれを追うのでした。

加賀見山田錦絵 廊下の段

天明二年（一七八二）正月、江戸外記座初演。容楊黨の作。

中臈・尾上に仕える女中のお初は、昨日鶴ヶ岡八幡で尾上が岩藤から「草履打ち」の辱めを受けたことを他の女中たちから聞きつけます。そこへ岩藤が現れ、尾上憎さからお初をもいじめにかかりますが、ちょうどその時、お家転覆の首謀者弾正が岩藤のもとを訪れ、お初は岩藤から解放されます。そして、お初は廊下で二人の策略を聞いてしまいます。

迎駕籠野中井戸 聚楽町の段

元文三年（一七三三）大坂豊竹座初演。原田由良助、並木宗助添削。

由兵衛と女房の小梅は、盗まれた主人の刀を質屋から取り戻すため、百両の金の工面に苦心しています。そこへ小梅の弟の長吉が、奉公先の為替の金、七十両を持ってやってきました。長吉が金を持っていくことを聞いた由兵衛は、小梅を使いに出し、金を奪おうと長吉に切りつけたところへ小梅が戻ってきて、残りの三十両は身を売って作ったと言います。長吉は、実はその七十両は、姉夫婦のために奉公先から盗んだものであると告げて息絶えます。夫婦は涙ながらに、長吉の死骸を野中の井戸へ葬りに行くのでした。

夜の部

女流義太夫連盟結成から70年

伽羅先代萩 政岡忠義の段

天明五年（一七八五）江戸結城座初演。松貫四、吉田角丸らの作。

敵方梶原景時の妻・栄御前が、頼朝公からの見舞いと称して菓子を持参します。なんとか鶴喜代君に菓子を食べさせようとする栄御前。しかし毒入りと察した千松が奥の間から走り出て菓子を食べ、事の発覚を恐れた八汐は千松を無礼討ちにします。我が子の死に涙も流さず気丈に振る舞う政岡を見て、我が子と鶴喜代君を取り替えたと早合点した栄御前は一味の企みを打ち明け立ち去ります。一人残った政岡は、我が子の亡骸を抱き号泣します。

艶姿女舞衣 酒屋の段

安永元年（一七七二）大坂豊竹此吉座初演。竹本三郎兵衛、豊竹応律らの合作で世話物の代表作。

酒屋・茜屋の息子・半七は、お園という妻がいるながら三勝と馴染み、子までもうけています。実家につれ戻されていたお園とその父宗岸が茜屋を訪ね、帰らぬ夫を思ってお園が一人嘆いているところへ、半七と三勝の間の子、お通が連れてこられ、半七からの手紙が見つかります。店の外では心中に赴く三勝と半七が、心の中で別れを告げていました。

生写朝顔話 宿屋の段

天保三年（一八三二）大坂稻荷座初演。司馬芝叟の長話（小説）を元に、山田案山子が創作、後に翠松園が添補増色。全五段の時代物。

深雪は改名し駒沢次郎左衛門となっている恋人・宮城阿曾次郎と偶然出会いますが、盲目となっているため気づきません。しかし立场上名乗れない次郎左衛門は扇、金子、葉を宿屋の主人・戎屋徳右衛門に託し旅立ちます。徳右衛門から子細を聞いた深雪は、止めるのも聞かずあとを追うのでした。

◎お客様にお願い（新型コロナウイルス感染症対策として）◎

- 今後の状況により、公演開催直前に開催中止とする可能性もございますことを、予めご了承ください。
- 曲間・幕間に換気を行いますので、暖かい服装でお越し下さい。
- 発熱、他の風邪諸症状・体調不良等のある場合はご来場をお控え下さい。
- マスクの着用をお願い致します。
- 入口での検温・手指消毒にご協力下さい。
- プレゼント・差し入れ等はお控え下さい。
- 出演者との面会はお控え下さい。
- 大きなお手荷物の持ち込みはご遠慮下さい。
- 上演中の声かけはお控え下さい。
- 氏名・緊急連絡先を必要に応じて保健所等に提供する場合がございますことをご了承下さい。いただいた個人情報、他のことには使用致しません。
- 会場備え付けのスリッパは使えません。必要な方はご持参下さい。
- ご予約頂いたお客様には入場料の事前振込をお願い致します。ご予約頂いてから振込用紙をお送り致します。またその際チェック用紙を同封致しますので、ご記入の上、当日ご持参ください。（チケットは発行致しません。チケットの代わりとなります。）

義太夫協会 会員募集!

義太夫協会主催公演の入場料が割引になるサポーターシステム（賛助会員）は常時会員募集中です。詳しくは義太夫協会までお問い合わせください。



お江戸日本橋亭 03-3245-1278

2月公演

義太夫協会 2021年2月21日[日]
法人化50周年 開演◎13時
記念公演 開場◎12時15分
紀尾井小ホール

料金◎各4,000円/全指定席
会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方各3,000円

企画・制作◎一般社団法人 義太夫協会 デザイン◎TRIAD